

平成28年第1回定例会（2月議会） 産業観光分科会・委員会 提出資料

平成28年2月24日
観光文化スポーツ部

【補正予算（追加提案）関連】

観光戦略課	平成28年度観光文化スポーツ部の 重点施策について	・・・	1
観光振興課	秋田の観光創生インバウンド対策強化事業等 について【新規】（地方創生加速化交付金）	・・・	2
秋田うまいもの販売課	クールアキタ食の輸出拡大支援事業 について【新規】（地方創生加速化交付金）	・・・	5

平成 28 年度 観光文化スポーツ部の重点施策について

～ 観光・文化・スポーツによる交流人口の拡大と「食」の売り込み ～

国内外からの誘客拡大

【文化とスポーツ】

- ◆ **市町村との連携による文化を活用した地方創生**
 - ・本県の伝統芸能が一堂に会する「新・秋田の行事」（大館市）、「国際花火シンポジウムプレ大会」（大仙市）、池田修三展を核とした「にかほ市プロジェクト」を実施
 - ・「石井漠、土方巽記念国際舞踊・舞踏フェスティバル」やミュージカル「石川理紀之助（仮称）」公演を開催
- ◆ **秋田のトップスポーツチームへの応援**
 - ・秋田ノーザンハピネッツの新リーグ参入に伴うホームアリーナ整備を支援
- ◆ **大規模スポーツ大会の開催**
 - ・「日本スポーツマスターズ 2016」や「FIS ワールドカップモーグル大会」を開催



【スポーツによるインバウンド】

- ◆ **海外ナショナルチーム合宿の誘致**
 - ・2020 年東京オリンピック・パラリンピック開催を見据え、海外ナショナルチームの事前合宿等を誘致

【観光】

- ◆ **JR 東日本等との連携による誘客**
 - ・五能線開業 80 周年や JR 東日本の重点販売地域キャンペーン（H29. 4～6）の実施に合わせた、首都圏を中心とした観光キャンペーンを実施
 - ・「秋田の観光創生推進会議」によるテーマ別観光コンテンツの発掘や磨き上げ、交通事業者とのタイアップキャンペーン等を実施
- ◆ **秋田の魅力発信による秋田ファンの拡大**
 - ・WEB マガジンによる魅力発信や新たな秋田の楽しみ方を提案



《新たな観光客層の開拓》

- スマートフォンゲームや「インスタグラム」の活用による若年層の誘客拡大
- コンベンションの際のエキスカージョン支援による観光流動の促進

【ターゲットを絞ったインバウンドの推進】

- ◆ **台湾**における国際定期便開設に向けた取組
 - ・航空会社や旅行会社への波動的な働きかけ
 - ・秋田発台湾チャーター便の運航を支援
- ◆ **タイ**からの誘客 10 倍増を目指した取組
 - ・農家民宿と教育旅行をセットにした誘客拡大に加え、富裕層をターゲットとした PR と商品造成を強化
 - ➡ 新たな集客イベントや電車のラッピング広告を実施
- ◆ **中国**チャーター便や LCC の誘致
- ◆ 「ASEAN 次官級交通政策会合」開催支援
 - ・参加各国のマスコミを招へいしながら、歓迎レセプションを実施



「食」の販路拡大

【高品質な販路の拡大】

- ◆ **首都圏等における多様な販売チャネルの開拓**
 - ・三越伊勢丹と連携した「新上質定番」プロジェクト
 - ・西武百貨店と連携した新スタイルの「秋田フェア」を開催
 - ・「生産者直売のれん会」と連携した、新たな東京土産を開発
 - ・フードワークス社との連携強化により、多様な流通ルートを活かして県産品を売り込み
- ◆ **関西圏や福岡での食の売り込み**
 - ・関西での、バイヤー招へいによる商品の磨き上げ、スーパーでの秋田フェアの開催
 - ・九州での、日本酒を中心とした試飲試食会の開催

【県産品の輸出促進】

- ◆ **「クールアキタ」による食の海外展開**
 - ・県産品の海外への売り込み
 - 台湾：独自商談会とメニューフェア開催
 - シンガポール：フードワークス社と連携した秋田フェアの開催（一ヶ月）
 - パリ：日本酒・工芸品・発酵食の一体的 PR
- ・本県オリジナル新酵母「UT-1」を積極展開（常温でも劣化しない高品質な吟醸酒を醸造）



観光客の受入態勢整備

【「日本一やさしい」受入態勢づくり】

- ◆ **「あきた旅のサポートセンター」を観光連盟内に開設し英語コンシェルジュも配置**
 - ・高齢者・障がい者などが安心して本県を観光できるよう、専門員がきめ細やかに対応するとともに、英語コンシェルジュの配置によりインバウンド受入態勢も整備
- ◆ **着地型旅行商品づくりなどに新たに取り組む事業者の育成**
- ◆ **二次アクセス整備への支援**
 - ・地域が主体となった二次アクセス整備と観光地域づくりを支援



交流人口拡大を支える取組

【秋田の文化力の更なる向上】

- ◆ **県・市連携文化施設の整備推進**
 - ・施設の配置案などの整備計画を策定

【スポーツ立県あきたの推進】

- ◆ **スポーツ王国の創生**
 - ・2020 東京オリンピック等で活躍できる選手育成と強化

【広域交通と地域公共交通の維持・拡充】

- ◆ **奥羽・羽越新幹線の整備促進**
 - ・市町村及び関係団体と連携し、シンポジウム開催と PR 活動を実施
- ◆ **地域資源を活用した公共交通の新たな利用促進策等の支援**
- ◆ **第三セクター鉄道の利用促進**

秋田の観光創生インバウンド対策強化事業等について【新規】
(地方創生加速化交付金)

観光振興課

1 目的

本県の観光資源の高いポテンシャルを生かし、インバウンド誘客の更なる拡大を図るため、海外の重点市場に向けた誘客プロモーションや情報発信を強化するとともに、「あきた旅のサポートセンター」の開設や二次アクセス整備に対する支援などにより、外国人旅行者等の受入態勢の充実を図る。

2 概要

- (1) 秋田の観光創生インバウンド対策強化事業 168,815千円
- 台湾やタイなどの重点市場に向けて、「高質な田舎」秋田を前面に打ち出したプロモーションを展開するとともに、拡大が続く中国等の新たな市場の開発を進めるほか、台湾の定期便化に向けてチャーター便の運航に対する支援を行う。
- ① 秋田泊旅行商品造成・販売促進事業 74,046千円
- 秋田に宿泊する旅行商品の造成・販売促進を図るため、旅行エージェント等の招聘や広告支援を行う。
- ② 現地セールスプロモーション事業 15,242千円
- 各市場において、航空会社や業界有力者へのトップセールスによる働きかけを行うほか、各市場の特性に合わせた積極的なプロモーション活動を展開する。
- ③ 情報発信強化事業 38,981千円
- 発信力のあるパワーブロガーやフェイスブックなど、各市場別に効果的な現地メディアを選定し、エンドユーザー向けのタイムリーな情報発信を行う。
- ④ 新規市場可能性等調査事業 5,541千円
- 旅行市場の成長が続く中国を対象に、誘客を図っていくための効果的な手法や航空路線の可能性を調査するなど、新たなインバウンド市場の開拓を進める。
- ⑤ 国際定期便拡大推進事業 35,005千円
- 将来の定期便化を見据え、秋田発台湾チャーター便の運航に対する支援を実施するほか、学校の国際交流や民間団体による草の根交流を促進する。
- (2) 「やさしさ日本一」受入態勢整備事業 27,136千円
- ① アキタノ受入態勢整備強化事業 20,959千円
- 観光連盟が新たに設置する「あきた旅のサポートセンター」にバリアフリー調査専門員や英語コンシェルジュを配置するほか、多言語パンフレットの発行、県有観光宿泊施設へのWi-Fi設備の導入を進める。

- ・観光施設等のバリア調査をするための専門的な職員の配置 1名
- ・外国語対応のための英語コンシェルジュの配置 1名
- ・観光パンフレット（英語・韓国語・繁体字・簡体字・タイ語）の製作
- ・県有観光宿泊施設館内へのWi-Fi設備の設置(サルーラル大潟、フォレスト鳥海)等

② インバウンド受入態勢整備に向けた新分野進出支援事業 6, 177千円
 海外からの誘客を促進するため、外国人向けの着地型旅行商品の造成などの新たな分野へ進出する県内事業者を支援する。

- ・補助対象：着地型旅行商品の造成など新たな分野に取り組む県内事業者
- ・補助率：定額
- ・限度額：3, 000千円
- ・補助件数：2件

(3) 二次アクセス整備促進事業 10, 782千円

観光地域づくりの推進母体として期待されている「地域DMO」の構築も見据え、空港やJR駅など県内の主要交通ターミナルを起点とした二次アクセスの整備と情報発信の充実に向けた取組を支援する。

① 地域関係者の協働による新たな二次アクセスの整備 3, 000千円

公共交通利用者の利便性向上に向けて、地域内の新たな二次アクセスを整備するため、地域課題の洗い出しや既存の交通インフラの活用も含めた検討、旅行商品化等に向けた取組等を支援する。

- ・補助限度額：1, 500千円
- ・補助率：定額
- ・補助件数：2件程度

② 既存二次アクセスの利用促進 7, 500千円

既存の二次アクセスの利用者を増加させるため、国内外への情報発信や利便性向上に向けた取組を支援する。

- ・補助限度額：2, 500千円
- ・補助率：定額
- ・補助件数：3件程度

③ 職員旅費 282千円

3 予算額		206,733千円
(1) 秋田の観光創生インバウンド対策強化事業		168,815千円
内訳	・報酬	2,170千円
	・共済費	334千円
	・報償費	225千円
	・旅費	12,395千円
	・需用費	750千円
	・役務費	865千円
	・委託料	116,971千円
	・使用料及び賃借料	100千円
	・負担金補助及び交付金	35,005千円
(2) 「やさしさ日本一」受入態勢整備事業		27,136千円
内訳	・報償費	40千円
	・旅費	676千円
	・委託料	12,128千円
	・使用料及び賃借料	661千円
	・負担金補助及び交付金	13,631千円
(3) 二次アクセス整備促進事業		10,782千円
内訳	・旅費	282千円
	・負担金補助及び交付金	10,500千円

クールアキタ食の輸出拡大支援事業について【新規】
(地方創生加速化交付金)

秋田うまいもの販売課

1 目的

世界的な日本食への関心の高まりやT P Pを「攻めの輸出」の機会と捉え、民間事業者等と連携して県産食品や本県オリジナル清酒酵母「U T - 1」を活用したプロモーションを実施し、県産品の輸出拡大を図る。

2 概要

- | | |
|---|-----------------|
| (1) クールアキタ推進事業 | 56,324千円 |
| ① クールアキタ i n 台湾 | 12,880千円 |
| 台湾における展示会への参加や独自の商談会の開催等により、県産食品や県産酒の販路拡大を図る。 | |
| ・フード台北への出展（平成28年6月） | |
| ・Touch The Japanへの出展（平成28年7月） | |
| ・県産品商談会の実施（平成28年8月） | |
| ・秋田メニューフェアの実施（平成28年秋冬） | |
| ② クールアキタ i n シンガポール | 20,385千円 |
| 民間事業者のシンガポールの店舗等を活用したプロモーションによる県産食品の売り込みと秋田のP Rを行う。 | |
| ・現地日本食レストラン「花蝶」（運営：㈱フードワークス）を活用した県産食品のプロモーション（平成28年6月下旬から1ヶ月間） | |
| ・プロモーション事業出展参加者に対する補助 | |
| 補助率：1／2 補助上限額：25万円 予定件数：10件 | |
| ・ジャパン・クリエイティブセンターを活用した秋田の食と観光P Rの実施（平成28年6月） | |
| ※ジャパン・クリエイティブセンター：日本大使館が運営する日本文化の発信拠点施設 | |
| ③ クールアキタ i n パリ | 15,304千円 |
| パリにおいて、日本酒、伝統的工芸品、発酵食品等のコラボレーションにより、「秋田の文化」を情報発信しながら、販路拡大を図る。 | |
| ・パリ市内のイベント会場において、県貿易促進協会とも連携し、食や工芸品の県内事業者の出展による展示販売等を行うほか、レストランにおいて、食のバイヤーや観光関係者等を招いて、日本酒や発酵食品に工芸品を組み合わせさせた「秋田を味わうフェア」を開催する。（平成28年9月） | |
| ④ 海外業務に係る関連事務費 | 7,755千円 |

(2) 輸出向け商品造成支援事業 **4, 273千円**

総合食品研究センターが開発した本県オリジナル清酒酵母「UT-1」の特性を活かし、輸出に比較優位性を持った県産日本酒の醸造を推進するとともに、海外の商談会で好評を得ている「しょつつる」の商品造成や売り込み強化を図ることで、県産食品の輸出促進に向けた事業者の取組を支援する。

- ・ UT-1 の試験醸造、しょつつるの成分分析等による商品力の向上支援
- ・ 日本酒輸出促進セミナーの開催（3回：酒造組合と連携）
- ・ 国際SAKEコンクールへの出展支援補助（定額補助：60千円、予定件数：10件）
- ・ 輸出向け展示会への出展

3 予算額 **60, 597千円**

(1) クールアキタ推進事業 **56, 324千円**

内 訳	・ 報酬	4, 340千円
	・ 共済費	671千円
	・ 報償費	96千円
	・ 旅 費	5, 881千円
	・ 需用費	480千円
	・ 役務費	525千円
	・ 委託料	41, 699千円
	・ 使用料及び賃借料	132千円
	・ 負担金補助及び交付金	2, 500千円

(2) 輸出向け商品造成支援事業 **4, 273千円**

内 訳	・ 報償費	350千円
	・ 旅 費	263千円
	・ 需用費	1, 209千円
	・ 役務費	446千円
	・ 委託料	501千円
	・ 使用料及び賃借料	904千円
	・ 負担金補助及び交付金	600千円